

平中納言教盛ノ夢ニ見給ヒタリケルハ、略○中新院德崇ノ御貌ヲ奉見バ、足手ノ御爪長々ト生、御髮ハ空様ニ生テ銀ノ針ヲ立タルガ如シ、御眼ハ鴉ノ目ニ似サセ給ヘリ、

〔太平記十五〕園城寺戒壇事

承保元年十二月十六日ニ、皇子御誕生有テケリ、帝叡感ノ餘ニ、御禱ノ勸賞宜依請ベシト被宣下、賴豪年來ノ所望也ケレバ、他ノ官祿一向是ヲ閣テ、園城寺ノ三摩耶戒壇造立ノ勅許ヲゾ申賜ケル、山門又是ヲ聽テ、欸狀ヲ捧テ禁庭ニ訴ヘ、先例ヲ引テ停廢セラレント奏シケレドモ、綸言再ビ不復トテ、勅許無リシカバ、三塔噉議ヲ以テ谷々ノ講演ヲ打止メ、社々ノ門戸ヲ閉テ、御願ヲ止ケル間、朝議難默止シテ、無力三摩耶戒壇造立ノ勅裁ヲゾ被召返ケル、賴豪是ヲ忿テ、百日ノ間、髮ヲモ不剃爪ヲモ不切、爐壇ノ烟ニフスボリ、噴恚ノ炎ニ骨ヲ焦テ、略○下

〔太平記三十五〕北野通夜物語事附青砥左衛門事

是ヲ聞テ十文ノ錢ヲ求メントテ、五十ニテ續松ヲ買テ燃シタルハ、小利大損哉ト笑ケレバ、青砥左衛門、眉ヲ擧テ、サレバコソ、御邊達ハ愚ニテ、世ノ費ヲモ不知、民ヲ惠ム心ナキ人ナレ、錢十文ハ只今不<sub>レ</sub>求<sub>レ</sub>バ、滑河ノ底ニ沈テ永ク失ヌベシ、某ガ續松ヲ買セツル五十ノ錢ハ、商人ノ家ニ止マテ、永不可<sub>レ</sub>失、我損ハ商人ノ利也、彼ト我ト何ノ差別カアル、彼此六十文ノ錢一ヲモ不<sub>レ</sub>失、豈天下ノ利ニ非ズヤト、爪彈ヲシテ申ケレバ、難ジテ笑ツル傍ノ人々、舌振テゾ感ジケル、

〔九條殿遺誠〕先起稱屬星名號七遍、略○中次除手足甲、丑日除手足甲、

〔土佐日記〕廿九日、承平五年正月ふねいだしてゆく、うらくとてりてこぎゆく、つめのいとながくなり、にたるを見て、ひをかぞふれば、けふは子日なりければ、きらす、

〔雲萍雜志〕ある人の妻、夫の爪を取ぬるをとめて、けふは辰の日なり、爪を取り給ふべからずといふ傍の人、これを聞きて、いかなることにかと問へば、辰は龍なり、龍は爪なくてかなふべか